

記者発表資料

**「R2鶴見川下末吉河道掘削工事」において
「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」、
「見積活用方式」を試行します。**

今回発注する「R2鶴見川下末吉河道掘削工事」では、不調不落対策として、公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)、見積活用方式を試行します。

○「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」の試行

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

○「見積活用方式」の試行

本工事は入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、直接工事費の「作業船運転工(土運搬船運転)」に係るものとし、予定価格作成のための参考とします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所
電話 045-503-4000 (代表) FAX: 045-503-4007

副所長 さとう つとむ 工務課長 まつもと たかよし
佐藤 務 松本 将能

《工事概要》

- (1) 工事名: R2鶴見川下末吉河道掘削工事
- (2) 工事場所: 神奈川県横浜市鶴見区下末吉二丁目地先
- (3) 工期: 契約の翌日から令和3年6月30日まで
(余裕期間設定[フレックス方式])
- (4) 入札方式: 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)

- (5) 工事種別: 河川しゅんせつ工事
- (6) 工事内容:

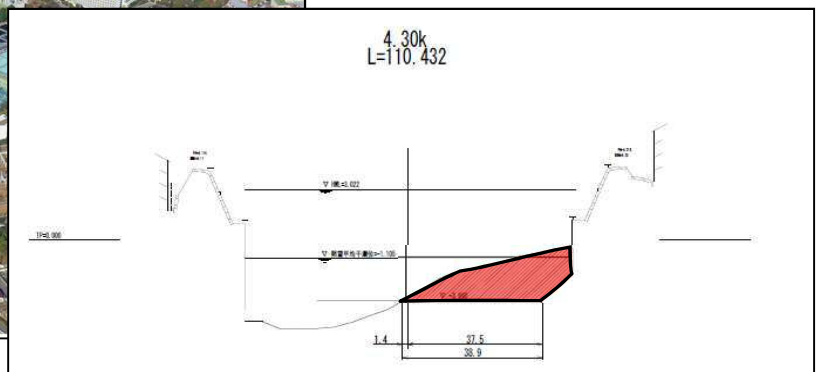
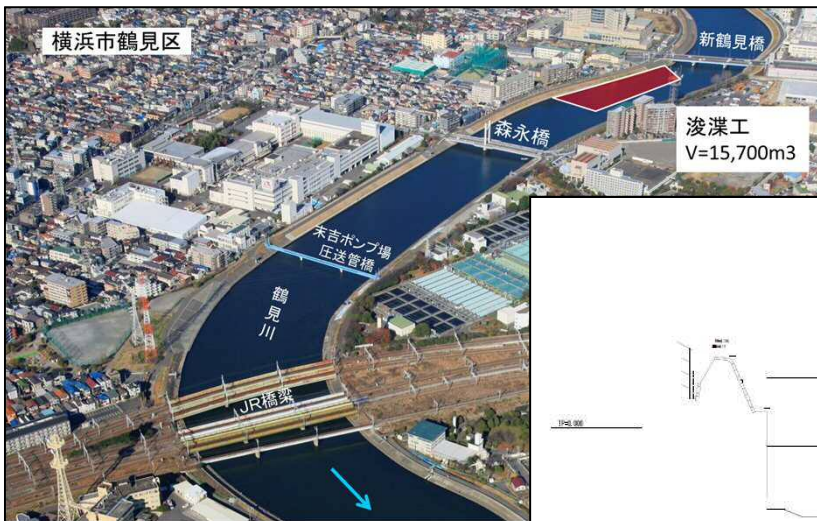
浚渫(河川)	1式
浚渫工(バックホウ浚渫)	1式
浚渫船運転工	約15,700m ³
作業船運転工(<u>土運搬船運転</u>)	約15,700m ³
浚渫土処理工	約15,700m ³
仮設工	1式
技術管理費	1式

- (7) 見積の提出を求める工種「見積活用方式」:
直接工事費のうち、「作業船運転工(土運搬船運転)」に係るもの

- (8) 見積の提出を求める理由:

土運搬船が通行する鶴見川 河口付近は、橋梁桁下部を通過するにあたり高さ制限があり、また、干満・波浪の影響により通過できる時間が限られるなど、土運搬船の作業効率の低下が懸念されます。

以上の点から、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため「見積活用方式」を試行します。



《スケジュール》

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ○入札公示、入札説明書 交付 | : 令和2年12月 3日(木) |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限 | : 令和2年12月17日(木) |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和3年 1月27日(水) |
| ○開札日 | : 令和3年 1月29日(金) |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

3/3

